



プラスチックごみは鬱陶しい

土木工学科

宮本 山野井



理由

プラスチックごみは地球規模の課題であるため、プラスチックごみ削減について興味を持ち、それについて調べようと思った。

現状 1

この画像のように海洋生物がプラスチックごみを食べる例が増えてきています。

また、海へ流出するプラスチックごみの量 800万T

2050年には、海中に生息する魚の重量を超える！！



現状 2

プラスチック排出量世界一は、
中国、アメリカと人口や国土面積などは
あまり関係ないように感じる。
1位と10位の排出量の差が大きい。

国名-0	プラスチックごみ排出量
中国	5908万トン
アメリカ	3783万トン
ドイツ	1448万トン
ブラジル	1185万トン
日本	799万トン
パキスタン	641万トン
ナイジェリア	596万トン
ロシア	584万トン
トルコ	560万トン
エジプト	546万トン

問題点

これは、マイクロプラスチックと言って、大きさ5mm以下のプラスチック粒子のことを指し、海洋生物がこれを飲み込み胃から大量に出てくるといいう問題もあります。

何故プラスチックが危険なのかというと、残留性有機汚染物質というものを取り込んでしまうからである。残留性有機汚染物質とは、有害化学物質であり、自然に分解されにくく食品などに取り込まれることによって、人間や、動物に害を及ぼすという点などから、危険視されている。



課題

プラスチックごみの約9割が、リサイクルされずに海へと放出されており、2019年の国連広報センターの発表によると、1億トンのプラスチックごみが投棄されています。

海洋プラスチックごみに対する世界の取り組みや方針として、EUの取り組みが挙げられます。EUでは「EUプラスチック戦略」という方針を打ち出し、取り組みにあたっており成果として

6000億ユーロのコスト削減、EU圏内の年高8%アップ、温室効果ガスの総排出量2~4%の削減などの効果を上げています。

このような取り組みをやってみて、プラスチック削減に貢献してみてもいいかがでしょうか？

10代からの提言

最初も言ったとおり、プラスチックごみの問題は地球規模の問題なので、日ごろからプラスチック使用を考えて、意識してみるだけでもいいとおもうので、プラスチック削減に協力すれば地球規模の課題ではなくなってそのうち心配しなくてもよくなると思います。



まとめ

プラスチックのことを考える良い機会になった。また、SDGsのことについて深く理解することができた。

このような取り組みで、自分たちが気づけなかった一面に気づくことができたので良かったと思う。

今後も全員が3Rに進んで取り組むことが大切だと思う。

